

1. 単元名 としょかんとなかよし

2. 単元設定の理由

単元観

○ 本単元は、国語科学習指導要領第1学年及び第2学年の内容〔知識及び技能〕(3)エ「読書に親しみ、いろいろな本があることを知ること。」について扱うものである。

本教材では、図書室での本の探し方を学習し、これまでの学習や体験とも関連させながら図書館にある本の表紙や題名から、読みたい本を選ぶ力を育成する。表紙や題名などを手がかりにして自分で本を選ぶ力は、今後続く読書生活において大切な力となる。また、自分で選んだ本を読み、読んで感じたことや思ったことを友達と共有することによって、さらに読書への意欲を高め、読書に親しむことができる単元である。

児童観

○ 本学級の児童は、自分から進んで学級文庫の中から好きな本を選んで読書をしたり、図書室に行ったりして読書に親しんでいる。実態調査として以下のような読書に関するアンケートを行った。

アンケート1は、読書が好きかどうか尋ねたものである。全員が「好き」と回答した。

アンケート2は、図書室の利用頻度について尋ねたものである。5人のうち3人が「ほぼ毎日」「週に3・4回」図書室を利用していることが分かった。一方で、2人は図書室の利用は「週に1・2回」「ほとんどない」ということが分かった。図書室にあまり行かない理由は、「外に出たいから。」「借りた本をじっくり見たい。」であった。

アンケート3は、図書室で読みたい本を見付けられるか尋ねたものである。5人のうち2人が「いいえ」と回答した。理由は、「どこにあるか分からないから。」「(本が)いっぱいあるから。」であった。また、「はい」と回答した児童の理由は、「見たい本を先に決めているから。」「中を見て決めているから。」「本がたくさんあるから。」であった。本がたくさんあることでどの本がどこにあるのかが分からないと感じる児童と、本がたくさんあるから興味のある本を見付けやすいと感じる児童がいると考える。

これらのアンケートの結果から、本学級の児童は読書に対する意欲が高いことが分かった。しかし、特にアンケート3の結果から、自覚して表紙や題名などのいくつかの情報を手がかりにしながらか本を選択している児童はほぼいないということがうかがえる。本単元での学習を通して、表紙や題名、図書室の表示等を手がかりとして読みたい本を見付ける力を育成する必要があると考える。

実態調査

(読書に関するアンケート1)

読書は好きですか。

好き	嫌い
5人	0人

(読書に関するアンケート2)

1週間にどのくらい図書室を利用していますか。

ほぼ毎日	週に3, 4回	週に1, 2回	ほとんどない
2人	1人	1人	1人

(読書に関するアンケート3)

図書室で読みたい本を見付けることができますか。

はい	いいえ
3人	2人

指導観

- 指導に当たっては、以下の工夫を行う。

【課題設定】

- ・ 明確な見通しをもって学習に取り組むことができるように、「1年生読書祭り」という単元のゴールを設定して学習計画を作成する。

【調べる】

- ・ 体験によって学習内容の理解を深めることができるように、「本探しゲーム」を行う。
- ・ 様々な本と出会い、図書室にはたくさんの本があることを知るができるように、ゲームのお題を工夫する。
- ・ 専門の知識を正しく学習することができるように、学校司書から本の探し方や並び方を教えてもらう場を設定する。
- ・ 本を探す際、題名や表紙を意識して本を見ることができるよう、題名や表紙を手がかりにして探している児童の探し方を紹介したり、題名と表紙を見ることを繰り返し伝えたりする。
- ・ 興味や意欲をもって学習に取り組むことができるように、「学校司書からの挑戦状」を授業の導入で提示する。
- ・ 友達と一緒に学習する楽しさやよさを感じられるように、児童同士で相談したり、協力したりして学習活動に取り組むよう声かけを行い、協力している場面で積極的に肯定的な評価を行う。

【まとめる】

- ・ 読書の楽しみ方の幅が広がるように、本に書かれている内容だけではなく、挿絵や写真からもその本の面白さを見付けられるようにする。
- ・ 児童が安心して読書活動に取り組むことができるように、児童それぞれの読書の楽しみ方を受け止める。

【ひろげる】

- ・ いろいろな本を読みたいという意欲を高めるために、「1年生読書祭り」を行い、友達の好きな本を知ることができるようにする。
- ・ 本単元での学びを今後の学習に生かすことができるように、単元の振り返りを行い、学習計画を元に学習を進められたことや、友達と協力して学習できたことを肯定的に評価する。
- ・ 読書への意欲を高め、読書に親しませるために、本を読んだ感想について、友達と自分の感想の同じところや違うところに気付き、その面白さを感じるができるようにする。

3 単元の目標

単元の目標【学習指導要領解説編から】

- 知識・技能
読書に親しみ、いろいろな本があることを知ることができる。
- 学びに向かう力、人間性等
言葉がもつよさを感じるとともに、楽しんで読書をし、国語を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする。

4 問い

①本質的な問い
読書のよさとはなんだろう。
②単元を貫く問い
図書室にはどのような本があるのだろう。
③個別の問い
1. 1年生読書まつりをするにはどんな学習をしたらよいだらう。
2. 図書室の本はどのように探すとよいだらう。
3. 自分の好きな本の面白さはどんなところだろう。
4. 友達は本のどんなところが好きなんだろう。

5 指導計画

(総時数4時間)

段階	時間	主な学習活動	指導上の留意点	評価規準
				【知・思・主】 評価方法
課題設定	1	○「1年生読書まつり」に向けて、学習計画を立てる。	「1年生読書まつり」の目的を意識させることで、学習のねらいと見通しがもてるようにする。	
調べる	2 本時	○「本探しゲーム」を行い、図書室での本の探し方を知り、図書室にはいろいろな本があることを知る。	自分で本を選ぶことが難しい児童には、教師や学校司書が本を紹介したり、友達と一緒に探したりするように促す。	読書に親しみ、いろいろな本があることを知っている。 【知】（発言・行動観察）
まとめる	3	○自分の好きな本を選び、その本の面白さを見付ける。	自分で文章を読んで理解することが苦手な児童には、読み聞かせをしたり、挿絵や写真にも注目したりするよう助言する。	読書に親しみ、進んでいろいろな本があることを知り、学習の見通しをもって、読書祭りで紹介する好きな本を選ぼうとしている。【主】（発言・行動観察）
ひろげる	4	○「1年生読書まつり」を行い、自分の好きな本を紹介する。 ○友達が紹介した本を読み、感想を伝え合う。 ○さらに読んでみたい本を探し、読書をする。	面白さとともに本の紹介を行うよう促す。 友達の紹介のいいなと思うところを見付けながら紹介を聞くよう促す。 本を読んだ感想について伝え合い、友達と自分の感想の同じところや違うところに気付いたり、その面白さを感じたりすることができるようにする。	

6 本時の指導（2/4）

（1）本時の目標

- ・知識・技能
読書に親しみ、いろいろな本があることを知ることができる。

（2）準備物

- ・各種資料 ・パワーポイント等

（3）展開

【課題設定・調べる・まとめる・ひろげるを柱とした授業の学習過程と子どもの姿、指導上の留意点】と【読解が苦手な児童の実態及び読解力を高める指導法（手立て）】から授業を展開する。

主な学習活動	○ 指導上の留意点	◆評価
<p>1 課題設定をする。 T 図書室でどんな本を読んだことがありますか。 C おしりたんていです。 C 動物の図鑑です。 T 司書の先生から、こんな挑戦状が届いています。 図書室で本を素早く見付けるためには、どうしたらよいのでしょうか。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p style="text-align: center;">課題</p> <p>図書室の本は、どのように探すとよいのだろう。</p> </div>	<p>○本時の学習への期待感を高めていくために、児童と対話をしながら進める。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>●●せんせい（学校司書）からの ちょうせんじょう ほんを よく よんでいる 1ねんせいのみんな！ としよしつのほんを すばやく みつけることは できるかな？ つぎの よっつのほんを さがしてきね！ ・のらねこぐんだん しりいずのほんを 1さつ ・かぶとむしのことが かいてあるほんを 1さつ ・ゆきしょうがっこう 100せんの ていがくねんのほんを 1さつ ・どうぶつが でてくるほんを 1さつ</p> </div>	
<p>2 本探しゲームをする。 ・本探しゲームのカードを渡し、ルールを説明する。 T 本を探すとき、どうやって探していますか。 C 題名を見ています。 C 表紙の絵を見ています。 C 本の中を見ています。</p>	<p>○事前学習として、「題名」「表紙」「背表紙」の言葉の意味を確認しておく。 ○視覚的にも理解できるよう、ホワイトボードを黒板の代わりとしてゲームのルールなどを提示する。 ○表紙や題名に着目して、様々な分野の本を手にとることができるよう、挑戦状を用意する。 【自己決定の場】 ○自分で本を選ぶことが難しい児童には、教師や学校司書が本を紹介したり、友達と一緒に探したりするように促す。</p>	
<p>3 見つけた本を伝え合う。 T どんな本がありましたか。 C 桃太郎がありました。 C ○○の秘密の本は、ここにたくさんありました。 C 虫の図鑑を見付けました。虫の写真がたくさん載っていました。</p>	<p>○本の題名や内容を伝え合わせ、同じ問題に答えているのに人によって違う本を見付けていることや、図書室にはいろいろな本があることに気付くように促す。</p>	
<p>4 まとめる。 T 図書室の本を素早く探す方法で、気付いたことはありますか。 C のらねこぐんだんの本は、同じところに置いてあるから、続きが読みたかったらそこを探したらいいと思いました。 C 本を素早く見付けるには、題名と表紙を見るとよいということが分かりました。</p>	<p>○図書室の棚の紹介や、絵本の並び順について理解するために、学校司書からパワーポイントにより、クイズなどを取り入れて紹介してもらおう。（絵本「としよかんねずみ」に登場するねずみが本の並べ方の秘密を紹介する。） ・絵本の分類と絵本シールの関連 ・絵本シールによる分類クイズ ・絵本シールと絵本の並べ方の関連</p>	

- T 気付いたことを基にしたなら、もっと早く本を見付けられそうですか。もう一度本探しゲームをしましょう。
- C 題名を見て探したら、さっきよりも早く本が見付けられました。
- C シールで選んだら早く見付けられました。
- T 本を素早く見付けるためには、どうしたらよいのでしょうか。
- C 題名を見て探すとよいと思います。
- C 表紙の絵を見て探すとよいと思います。
- C 同じ本の仲間が置いてある棚を見て探すとよいと思います。

まとめ
本を探すときは、棚、題名、表紙などを見るとよい。

- 5 本時の学習を振り返る。
- T 今日の学習で分かったことや、友達のいいなと思ったところ、もっとやってみたいことはなんですか。
- C 図書室には物語や図鑑などのいろいろな本があることが分かりました。
- C みんなが自分で本を見付けることができ、よかったと思います。
- C もっといろいろな本を読んでみたいです。
- 6 次時の予告を聞く。
- T 次の時間は、1年生読書まつりで紹介する本を選びます。

- ・図書室の絵本以外の蔵書の紹介
- 本単元での学びが今後の読書活動につながるように、シルトピア図書館（地域の公立図書館）での経験を想起し、公共の図書館と学校の図書館の配架の仕方の共通点に気付くよう促す。
- 今後の読書活動において本時の学習を生かせるよう、本時の学習内容を用いて本を探すと、より早く本が見付かることを実感的に気付くようにする。

- 学びを実感できるように、学習の振り返りを自分の言葉で表現するよう促し、それを肯定的に評価する。

◆読書に親しみ、いろいろな本があることを知っている。【知】（発言・行動観察）

7 板書計画

⑤ ほんの ならびかた
おなじ しゅるいの ほんはおなじ たなにある。
だいいいや ひょうしをみると ほんが はやくみつかると。

【えほんの なかまわけしいる】

あいうえお	
かきくけこ	
さしすせそ	
たちつと	
なにぬねの	
はひふへほ	
まみむめも	
やゆよ らりるれろ わ	

○ きづいたこと
・おなじしゅるいの ほんが おなじ たなにある。
・だいいいや ひょうしをみると すぐに みつかると。

○ ほんさが しげえむの るうる

① ほんを さがして みつけたら もっておい。
② ともだちときょうりよくしても よい。
③ ●せんせいに ひんとを もらっても よい。
④ じかんは ごふん。

としよかんと なかよし
としよしつの ほんは、どの ように さがすと よいの だろう。

●せんせいからの ちょうせんじょう】
ほんを よく よんでいり いちねんせいの みんな！
としよしつの ほんを すばやく みつけることは できるかな？
つぎの よつつの ほんを さがしてきてね！
・のらねごんだん しりいずの ほんを いっさつ
・かぶとむしのことが かいてある ほんを いっさつ
・ゆきしようがっこう ひやくせんの ていがくねんの ほんを いっさつ
・どうぶつが でてくる ほんを いっさつ

【「絵本の仲間分けシール」について】
図書分類レベルの下に貼られている果物のシールで、絵本の題名の最初の五十音に対応している。絵本は、このシールごとに書架上に整理されている。

